

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1



ポータブル超短焦点プロジェクターを使っていて、困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

[「IFTTT」連携機能終了についてのお知らせ](#)

本機の特長

本機の特長や楽しみかたを紹介します。

お使いになる前に

[内容品を確認する](#)

各部の名称

- [各部の名称（プロジェクター）](#)
- [各部の名称（ワイヤレスユニット）](#)
- [ランプの光りかた](#)
- [専用アプリのホーム画面](#)

準備する

[プロジェクターの置きかた](#)

電源を準備する

- [プロジェクターを充電する](#)
- [プロジェクターの電池持続時間](#)
- [ワイヤレスユニットの電源を接続する](#)

電源を入／切する

[プロジェクターの電源を入／切する](#)

[プロジェクターをスタンバイ状態にする](#)

[専用アプリをインストールして初期設定する](#)

ワイヤレスユニットに他機器を接続する

[HDMI機器やテレビを接続する](#)

[AVマウスを接続する](#)

電源を入／切する

[プロジェクターの電源を入／切する](#)

[プロジェクターをスタンバイ状態にする](#)

専用アプリの使いかた

[専用アプリのホーム画面](#)

[ソフトウェアをアップデートする](#)

ポスターを表示する

[時計を表示する](#)

[天気を表示する](#)

[プリインストールされているスライドショーを表示する](#)

[配信ポスターを表示する](#)

[写真が切り替わる間隔を設定する](#)

ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する

[ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する](#)

スマートフォンの写真／動画を表示する

[スマートフォンの写真／動画を表示する](#)

[スマートフォンの写真／動画をスライドショーで表示する](#)

[写真が切り替わる間隔を設定する](#)

スマートフォンの画面をミラーリングする

[スマートフォンの画面をミラーリングする（Androidスマートフォンのみ）](#)

ホームネットワーク上の機器の写真／動画を表示する

[ホームネットワーク上の機器の写真／動画を表示する](#)

各種設定

[音量を調整する](#)

[明るさを調整する](#)

[フォーカスを調整する](#)

[台形補正する](#)

[投写画面を回転する](#)

[起動時に常にポスターを表示する](#)

[自動ON／スタンバイの設定をする](#)

[画質を設定する](#)

[「自分の写真」の「1枚表示」で表示する動画の画質を設定する（iPhoneのみ）](#)

[音質を設定する（xLOUD）](#)

ネットワーク設定をする

[本機の機器名を変更する](#)

[アクセスポイントに接続する](#)

[Wi-Fi Directで接続する](#)

[電波状況を確認する](#)

[スマートフォン接続時に登録確認を行う](#)

[接続するスマートフォンを管理する](#)

[Wi-Fi MACアドレスを確認する](#)

[プロジェクターの言語設定を変更する](#)

[ソフトウェアをアップデートする](#)

[設定値を初期値に戻す](#)

[本機に転送したコンテンツを削除する](#)

[専用アプリで操作するプロジェクターを確認する](#)

[プロジェクターとワイヤレスユニットを再ペアリングする](#)

[お知らせを確認する](#)

使用上のご注意／主な仕様

[使用上のご注意](#)

[お手入れ](#)

[本機を廃棄するときは](#)

[主な仕様](#)

[プロジェクターの電池持続時間](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

[保証書とアフターサービス](#)

困ったときは／よくある質問

[問い合わせ先](#)

よくある質問

- [色がおかしい](#)
- [投写画面が歪んでいる](#)
- [投写画面に影ができる](#)
- [投写画面がちらつく、小さい点のノイズが表示される](#)
- [フォーカスが合わない](#)
- [HDMI機器の映像が表示されない、表示が乱れる](#)
- [投写画面が自動的に暗くなった、または投写画面が消えた](#)
- [自動的に投写画面が消える、または投写画面が表示される](#)
- [画像が乱れる](#)
- [専用アプリで操作できない](#)
- [スマートフォンとBluetooth接続できない](#)
- [「機器登録情報が不正です」と表示され、スマートフォンとBluetooth接続できない](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

内容品を確認する

万一、不足している内容品がある場合はソニーの相談窓口にご相談ください。

() 内は個数です。

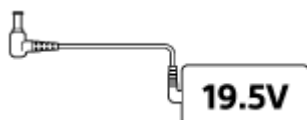
- ポータブル超短焦点プロジェクター LSPX-P1 (1)



- ワイヤレスユニット LSPX-PT1 (1)



- ACアダプター VGP-AC19V77 (19.5V／プロジェクター用) (1)



- ACアダプター LSPX-AC5V2 (5V／ワイヤレスユニット用) (1)



- 電源コード (2)



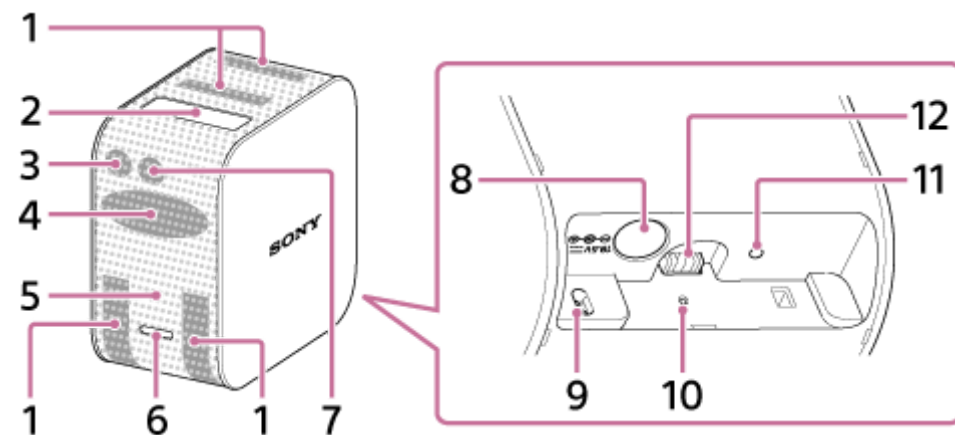
- AVマウス (IR BLASTER) (1)



- スタートガイド (1)
- リファレンスガイド (1)
- 保証書 (1)

各部の名前（プロジェクター）

プロジェクターの各部の名前を説明します。



1. 吸気口／排気口
2. 投写窓
壁や床に映像を投写します。
3. リモコン受光部
ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器のリモコンの信号をプロジェクターで受信し、離れた場所からHDMI機器を操作できます。ワイヤレスユニットとHDMI機器をAVマウス（付属）で接続しておく必要があります。
4. スピーカー
5. 電源ランプ
プロジェクターの電源や電池の状態などを示します。
6. 電源ボタン
長押しすると電源が入／切します。電源が入っている状態で軽く押すと、スタンバイ／スタンバイ解除が切り替わります。
7. 照度センサー
周囲の明るさを検知し、投写画面の明るさを調整します。
8. DC IN 19.5V端子
ACアダプター VGP-AC19V77（付属）を接続します。
9. 測距センサー
プロジェクターから壁や床までの距離を検知します。
10. RESETボタン
プロジェクターをリセットして再起動します。
11. 充電ランプ
充電中に点灯します。
12. スタンド（別売）用電源端子
別売のフロアスタンドに取り付けたときに電源を供給します。

ご注意

- 電源ランプが白く点灯しているときは、レーザー光が放出されています。投写中に投写窓をのぞかないでください。光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

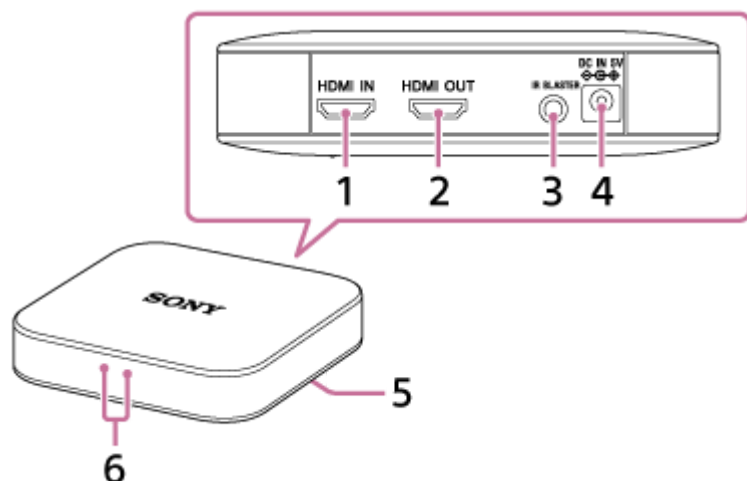
関連項目

- [ランプの光りかた](#)

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

各部の名前（ワイヤレスユニット）

ワイヤレスユニットの各部の名前を説明します。



1. HDMI IN端子
市販のHDMIケーブルを使ってHDMI機器を接続します。接続した機器の映像をプロジェクターで表示できます。
2. HDMI OUT端子
ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像をテレビにも表示するには、市販のHDMIケーブルを使ってテレビに接続します。
3. AVマウス（IR BLASTER）接続端子
AVマウス（付属）を接続します。
4. DC IN 5V端子
ACアダプター LSPX-AC5V2（付属）を接続します。
5. PAIRINGボタン
お買い上げ時は、プロジェクターとワイヤレスユニットはあらかじめペアリング（接続設定）されています。修理を行った場合などに、このPAIRINGボタンを使って再度ペアリングします。
6. ランプ
ワイヤレスユニットの状態を示します。

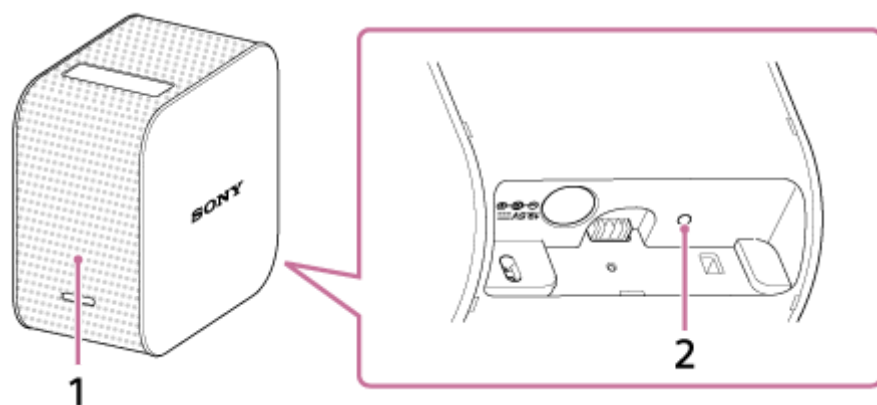
関連項目

- [ランプの光りかた](#)
- [AVマウスを接続する](#)

ランプの光りかた

プロジェクターとワイヤレスユニットのランプの光りかたは以下のとおりです。

プロジェクターのランプ



1. 電源ランプ

- 消灯：電源が入っていません。
- 白の点灯：電源が入っている、またはスタンバイ状態です。
- 赤の点滅
 - － 4秒ごとに1回点滅：電池残量が少なくなっています。
 - － 2秒ごとに1回点滅：本体内部の温度が高すぎるまたは低すぎる状態です。プロジェクターを室温（常温）にしばらく放置し、電源を入れ直してください。
 - － 3秒ごとに3回点滅：本体に異常が発生しています。ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

2. 充電ランプ

- 消灯：充電が終了しました。
- 点灯：充電中です。

ワイヤレスユニットのランプ




- 白の点灯：プロジェクターと接続されています。
電源が入っていない状態から電源を接続したときも白く点灯します。ワイヤレスユニットの起動準備が完了すると消灯します。
- 白の点滅（1秒ごとに1回点滅）：ソフトウェアのアップデート中です。


専用アプリのホーム画面

「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面に表示される内容について説明します。



1. (機器名表示) ボタン
お使いのプロジェクター名を表示します。
2. 音量調節スライドバー
3. ポスター
プロジェクターを「ポスターモード」に切り替えます。
[ポスター] 右上の をタップして、[ポスターの変更] を選ぶと、ポスターの種類を変更できます。
ポスターモードを選択しているときは、[ポスターの変更] をタップすると、ポスターの種類を変更できます。
4. 外部入力 (HDMI)
プロジェクターを「外部入力 (HDMI)」モードに切り替えます。
ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示するときにタップします。
5. 自分の写真
スマートフォンに保存されている写真や動画を、専用アプリから選んで表示するときにタップします。
[自分の写真] 右上の をタップして、[スライドショー] または [1枚表示] を選びます。
 - [スライドショー] : 写真や動画をスライドショーで表示します。
 - [1枚表示] : 写真や動画を表示します。
6. プロジェクターの電池残量
7. Bluetooth接続状態
Bluetooth未接続状態で、プロジェクターとスマートフォンが同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続されているときは、「 接続済み」と表示されます。

8.  (スタンバイ/スタンバイ解除) ボタン
スタンバイ/スタンバイ解除を切り替えます。

9.  (設定) ボタン
設定メニューを表示します。

スマートフォンの通知画面について

スマートフォンとプロジェクターの接続中は、スマートフォンの通知画面に「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の通知が表示されます。本アプリの通知では、プロジェクターのスタンバイ/スタンバイ解除や音量調整ができます。

スマートフォンの画面上端から下にフリックすると通知画面が表示されます。iPhoneの場合は、「今日」をタップすると本アプリの通知を確認できます。

Androidスマートフォン



iPhone



1. スタンバイ／スタンバイ解除ボタン
2. 音量調整ボタン

ヒント

- 通知画面は、お使いのスマートフォンの機種によって異なる場合があります。

関連項目

- [時計を表示する](#)
- [天気を表示する](#)
- [プリインストールされているスライドショーを表示する](#)
- [スマートフォンの画面をミラーリングする（Androidスマートフォンのみ）](#)
- [ホームネットワーク上の機器の写真／動画を表示する](#)
- [ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する](#)
- [スマートフォンの写真／動画を表示する](#)
- [音量を調整する](#)
- [明るさを調整する](#)
- [フォーカスを調整する](#)
- [台形補正する](#)
- [投写画面を回転する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

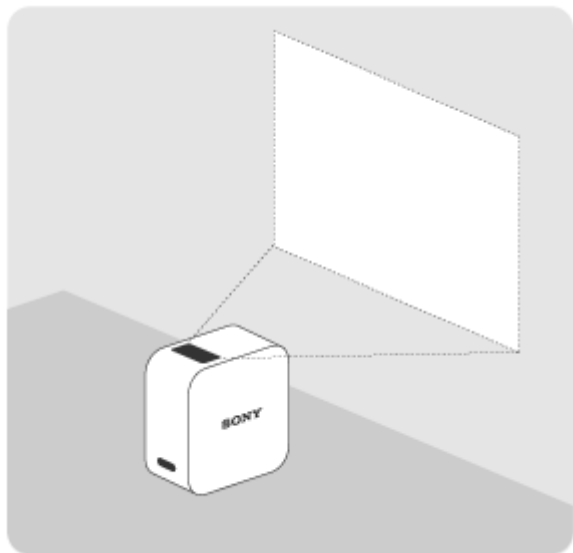
プロジェクターの置きかた

プロジェクターは、壁だけではなく、テーブルや床などにも写真や動画を投写することができます。投写する場所に応じて置きかたを変えてください。

壁に映す

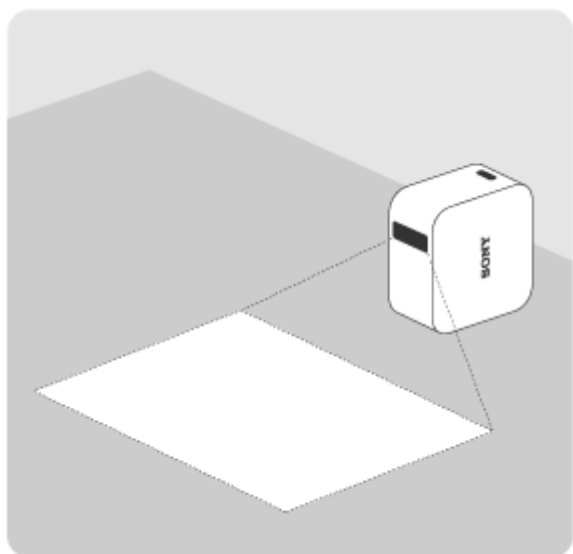
壁からの距離によって、投写画面のサイズが変わります。

- 0cm : 22型
- 約9cm : 40型
- 約19cm : 60型
- 約28cm : 80型



テーブルや床に映す

投写画面のサイズは22型で表示されます。



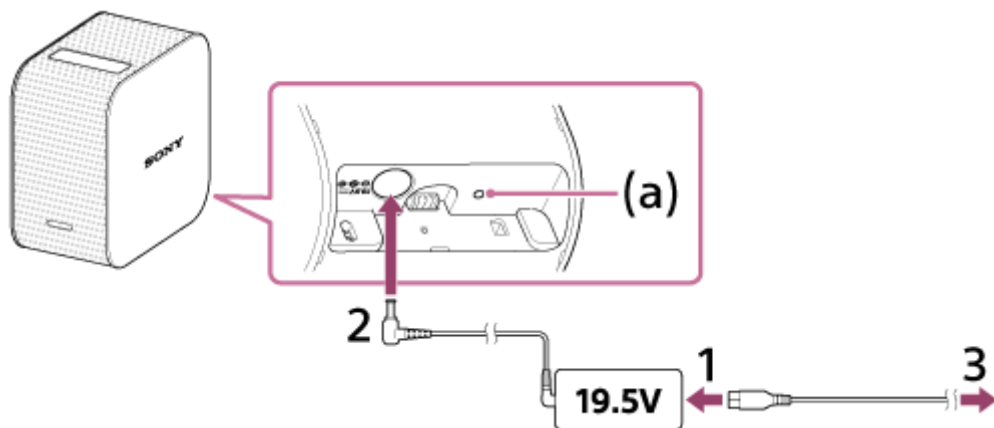
ヒント

- プロジェクターを持ち上げて移動させているときは、投写光が目に入らないよう投写窓が暗くなります。

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

プロジェクターを充電する

プロジェクターにはリチウムイオン充電電池が内蔵されています。電池残量が少なくなると電源ランプが赤く点滅しますので、付属のACアダプターをつないで充電します。



- 1 プロジェクター用のACアダプター（19.5V）（付属）に電源コード（付属）をつなぐ。
- 2 ACアダプターをプロジェクターのDC IN 19.5V端子につなぐ。
- 3 電源コードの電源プラグを、コンセントにしっかりと差し込む。

充電が始まると充電ランプ（a）がオレンジ色に点灯します。充電が終わると消灯します。

ヒント

- 電池を使いきった状態から充電を開始すると、充電が完了するまで約4時間かかります。
- 充電電池が満充電状態でも残量確認のために充電ランプが点灯することがあります。

関連項目

- [プロジェクターの電池持続時間](#)
- [プロジェクターの電源を入／切する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

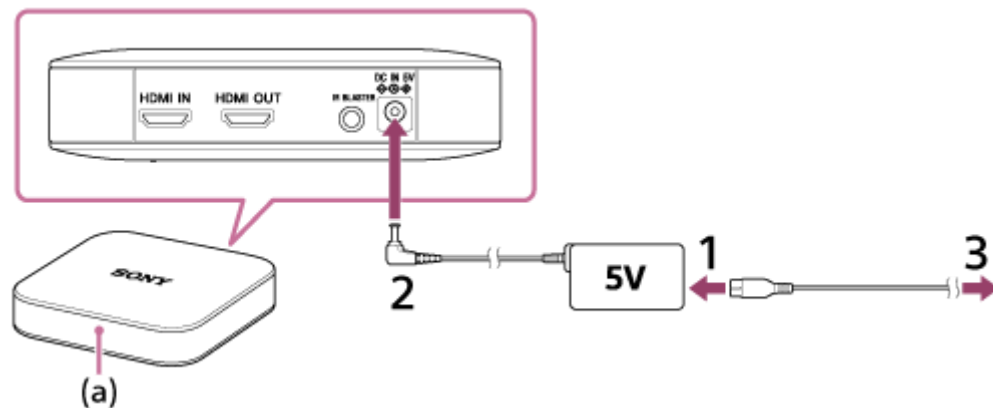
プロジェクターの電池持続時間

プロジェクターは、満充電の状態で約2時間連続使用できます。

ヒント

- [画質設定] を [プリセット1] に設定し、約80%の音量で動画を再生した場合の電池持続時間です。
- 周囲の温度や使用状況により、上記の時間と異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによって、電池持続時間に差が出る場合があります。

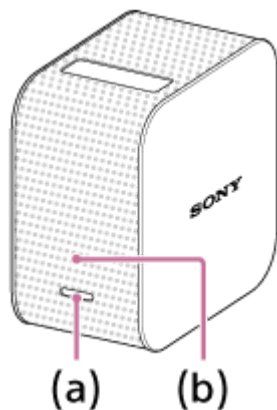
ワイヤレスユニットの電源を接続する



- 1 ワイヤレスユニット用のACアダプター（5V）（付属）に電源コード（付属）をつなぐ。
- 2 ACアダプターをワイヤレスユニットのDC IN 5V端子につなぐ。
- 3 電源コードの電源プラグを、コンセントにしっかりと差し込む。

電源プラグをコンセントに差し込むだけで電源が入ります。白色ランプ（a）が点灯し、ワイヤレスユニットが起動準備を行います（30秒～40秒）。起動準備が完了すると、ランプが消灯します。

プロジェクターの電源を入／切する



電源を入れる

電源ボタン (a) を長押しします。電源が入り、電源ランプ (b) が白く点灯します。

電源を切る

電源ボタン (a) を長押しします。電源が切れ、電源ランプ (b) が消灯します。

電源ボタン (a) を軽く押すと、スタンバイ状態になります。

ヒント

- ワイヤレスユニットは、電源プラグをコンセントにつなぐと電源が入ります。
- 専用アプリ「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面で⏻（スタンバイ）ボタンをタップした場合はスタンバイ状態になります。電源を切るときは、プロジェクターの電源ボタンを長押ししてください。
- 電源を切ると、Bluetoothおよびアクセスポイント（無線LANルーター）との接続も切断されます。
- 電源ランプが白く点灯しているときは、レーザー光が放出されています。

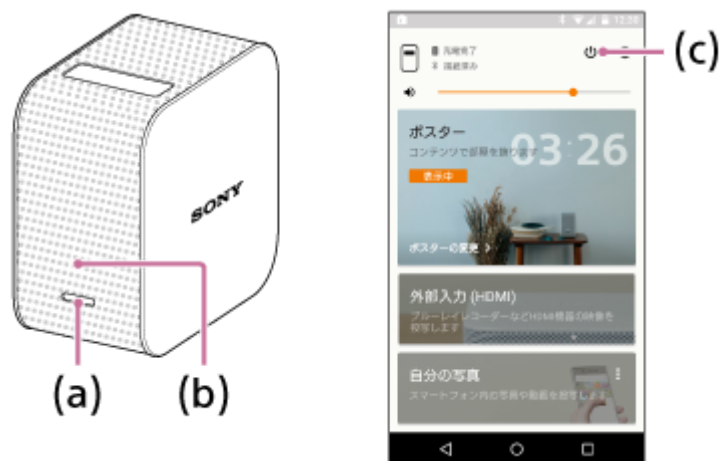
関連項目

- [プロジェクターをスタンバイ状態にする](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

プロジェクターをスタンバイ状態にする

プロジェクターを一時的に使わないときは、スタンバイ状態にして投写画面を暗くできます。



スタンバイ状態にする

- プロジェクター本体：電源ボタン（a）を軽く押します。
- 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」：ホーム画面の⏻（スタンバイ）ボタン（c）をタップします。

スタンバイ状態になっても電源ランプ（b）は白く点灯し続けます。

スタンバイ状態を解除する

- プロジェクター本体：電源ボタン（a）を軽く押します。
- 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」：ホーム画面の⏻（スタンバイ解除）ボタン（c）をタップします。

ヒント

- スマートフォンの通知画面に表示される「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の通知からスタンバイ/スタンバイ解除を切り替えることもできます。
- 下記の場合、自動でスタンバイ状態になるよう「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の「自動ON/スタンバイ」で設定できます。
 - － ポスターモードで、周りが暗い状態で20分以上何も操作しなかったとき
 - － 設定した時間になったとき
 - － スマートフォンがプロジェクターから離れたことを検知したとき

関連項目

- [自動ON/スタンバイの設定をする](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

専用アプリをインストールして初期設定する

プロジェクターの操作や設定は、本機専用アプリ「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」で行います。Google PlayストアまたはApp Storeから「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」をスマートフォンにインストールしてください。

対応スマートフォン

- Android
Android 4.4以降（Bluetooth 4.0（Bluetooth Low Energy）対応）
- iPhone
iOS 9を搭載したiPhone 4s以降、iPod Touch第5世代以降、iPad第3世代以降、iPad mini

- 1 Google PlayストアまたはApp Storeから「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」をダウンロードしてインストールする。

<http://www.sony.net/lsp-x-p1/store/>

- 2 インストールが終了したら、 / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

- 3 画面の指示に従って「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の初期設定を行う。

ヒント

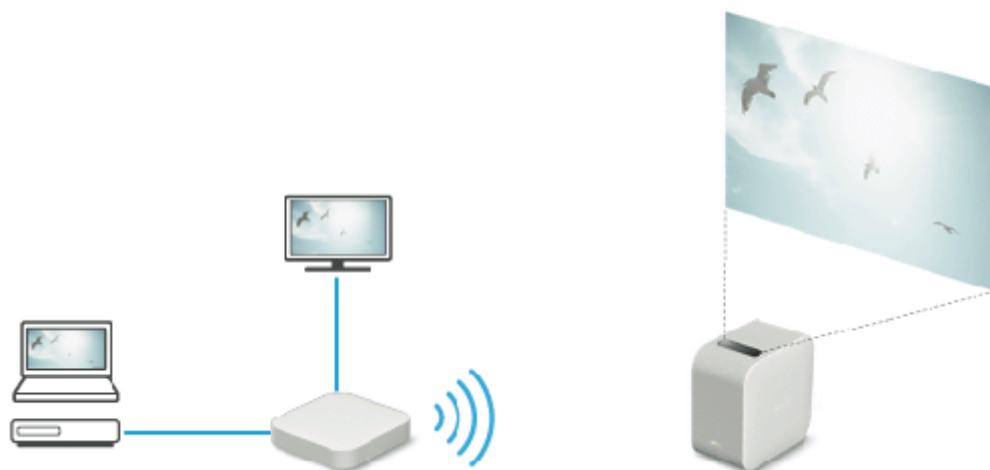
- 本機にはスマートフォンを8台まで登録できます。8台を超えると、古いものから上書きして登録されます。

HDMI機器やテレビを接続する

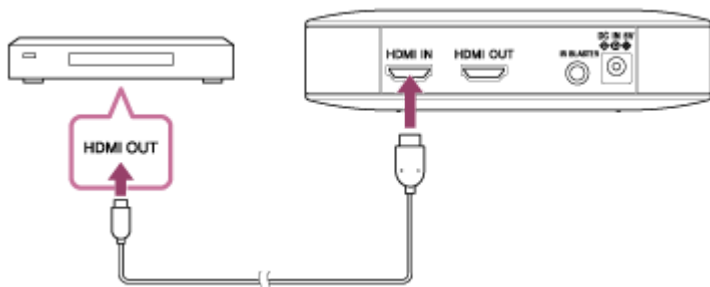
ワイヤレスユニットに、ブルーレイディスク™レコーダーやパソコンなどのHDMI機器を接続して、HDMI機器の映像をプロジェクターで表示することができます。

HDMI機器の映像をテレビにも表示する場合は、ワイヤレスユニットにテレビを接続します。

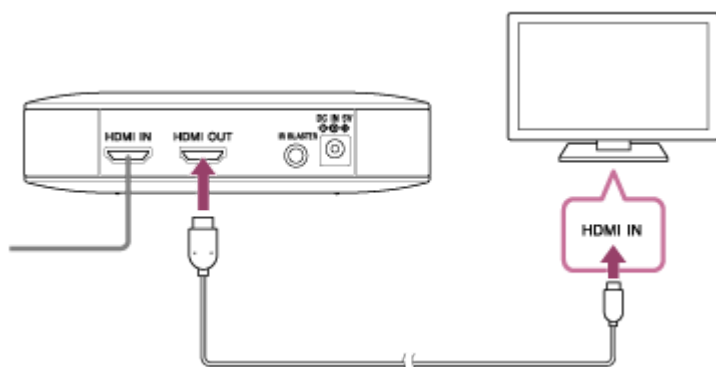
HDMI機器との接続には、HDMIケーブル（別売）が必要です。



- 1 ワイヤレスユニットのHDMI IN端子とHDMI機器のHDMI OUT端子を、HDMIケーブル（別売）で接続する。



- 2 HDMI機器の映像をテレビにも表示する場合は、ワイヤレスユニットのHDMI OUT端子とテレビのHDMI IN端子を、HDMIケーブル（別売）で接続する。



ヒント

- AVマウス（付属）を接続すると、HDMI機器のリモコンをプロジェクターに向けて操作できます。プロジェクターとHDMI機器が離れた場所にあるときなどに便利です。AVマウスの接続については、[こちら](#)をご覧ください。

- 入力される映像信号がインターレース信号のときに、映像が乱れる場合があります。HDMI出力機器の出力解像度を「自動」、「1080p」、「720p」のいずれかに設定してください。

関連項目

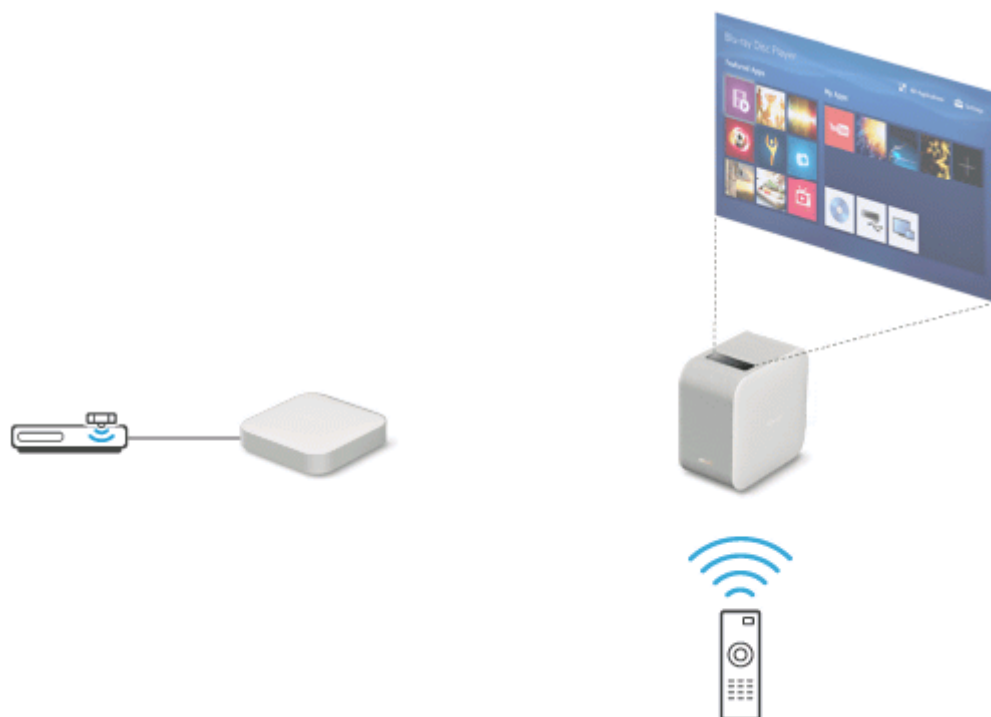
- [AVマウスを接続する](#)
- [ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する](#)

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

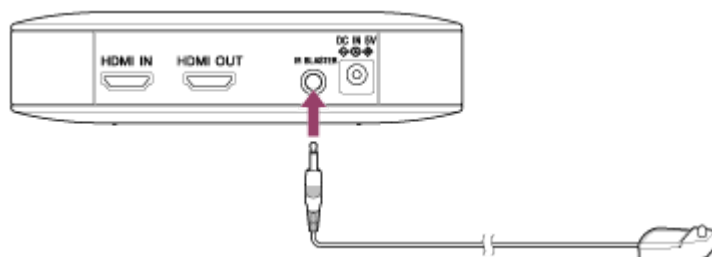
ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

AVマウスを接続する

ワイヤレスユニットとHDMI機器をAVマウス（付属）で接続すると、HDMI機器のリモコンをプロジェクターに向けて操作できます。プロジェクターとHDMI機器が離れた場所にあるときなどに便利です。

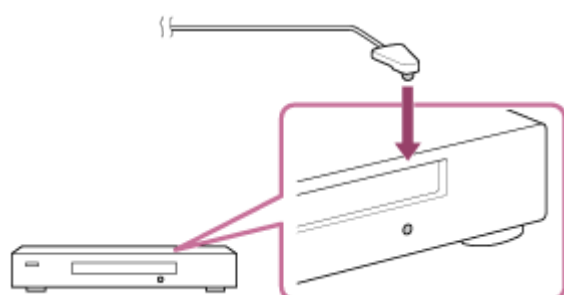


- 1 ワイヤレスユニットのAVマウス（IR BLASTER）接続端子にAVマウスを接続する。

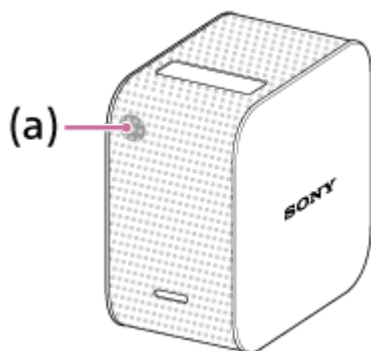


- 2 AVマウスの先端をHDMI機器のリモコン受光部に向けて取り付け。

リモコン受光部の位置は、HDMI機器の取扱説明書でご確認ください。



- 3 プロジェクターのリモコン受光部（a）に向けて、HDMI機器のリモコンを操作する。

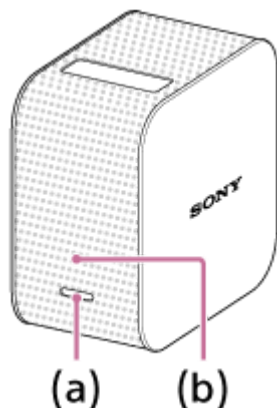


操作できないときは、AVマウスの向きを変えてみてください。
動作確認が完了したら、AVマウスを両面シール（付属）で固定してください。

関連項目

- [HDMI機器やテレビを接続する](#)

プロジェクターの電源を入／切する



電源を入れる

電源ボタン (a) を長押しします。電源が入り、電源ランプ (b) が白く点灯します。

電源を切る

電源ボタン (a) を長押しします。電源が切れ、電源ランプ (b) が消灯します。

電源ボタン (a) を軽く押すと、スタンバイ状態になります。

ヒント

- ワイヤレスユニットは、電源プラグをコンセントにつなぐと電源が入ります。
- 専用アプリ「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面で⏻（スタンバイ）ボタンをタップした場合はスタンバイ状態になります。電源を切るときは、プロジェクターの電源ボタンを長押ししてください。
- 電源を切ると、Bluetoothおよびアクセスポイント（無線LANルーター）との接続も切断されます。
- 電源ランプが白く点灯しているときは、レーザー光が放出されています。

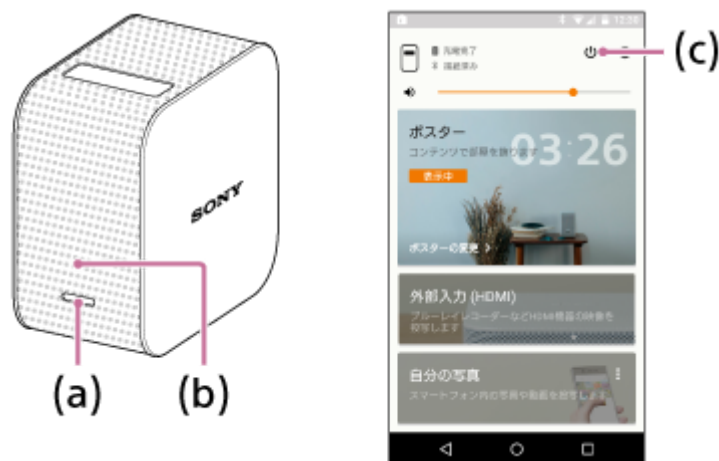
関連項目

- [プロジェクターをスタンバイ状態にする](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

プロジェクターをスタンバイ状態にする

プロジェクターを一時的に使わないときは、スタンバイ状態にして投写画面を暗くできます。



スタンバイ状態にする

- プロジェクター本体：電源ボタン（a）を軽く押します。
- 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」：ホーム画面の⏻（スタンバイ）ボタン（c）をタップします。

スタンバイ状態になっても電源ランプ（b）は白く点灯し続けます。

スタンバイ状態を解除する

- プロジェクター本体：電源ボタン（a）を軽く押します。
- 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」：ホーム画面の⏻（スタンバイ解除）ボタン（c）をタップします。

ヒント

- スマートフォンの通知画面に表示される「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の通知からスタンバイ/スタンバイ解除を切り替えることもできます。
- 下記の場合、自動でスタンバイ状態になるよう「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の「自動ON/スタンバイ」で設定できます。
 - － ポスターモードで、周囲が暗い状態で20分以上何も操作しなかったとき
 - － 設定した時間になったとき
 - － スマートフォンがプロジェクターから離れたことを検知したとき

関連項目

- [自動ON/スタンバイの設定をする](#)


ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1


専用アプリのホーム画面

「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面に表示される内容について説明します。



1. [機器名表示] ボタン
お使いのプロジェクター名を表示します。
2. [音量調節] スライドバー
3. ポスター
プロジェクターを「ポスターモード」に切り替えます。
[ポスター] 右上の [ポスターの変更] を選ぶと、ポスターの種類を変更できます。
ポスターモードを選択しているときは、[ポスターの変更] をタップすると、ポスターの種類を変更できます。
4. 外部入力 (HDMI)
プロジェクターを「外部入力 (HDMI)」モードに切り替えます。
ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示するときにタップします。
5. 自分の写真
スマートフォンに保存されている写真や動画を、専用アプリから選んで表示するときにタップします。
[自分の写真] 右上の [スライドショー] または [1枚表示] を選びます。
 - [スライドショー] : 写真や動画をスライドショーで表示します。
 - [1枚表示] : 写真や動画を表示します。
6. [電池残量] プロジェクターの電池残量
7. [Bluetooth接続状態] Bluetooth接続状態
Bluetooth未接続状態で、プロジェクターとスマートフォンが同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続されているときは、「[接続済み]」と表示されます。

8.  (スタンバイ/スタンバイ解除) ボタン
スタンバイ/スタンバイ解除を切り替えます。

9.  (設定) ボタン
設定メニューを表示します。

スマートフォンの通知画面について

スマートフォンとプロジェクターの接続中は、スマートフォンの通知画面に「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の通知が表示されます。本アプリの通知では、プロジェクターのスタンバイ/スタンバイ解除や音量調整ができます。

スマートフォンの画面上端から下にフリックすると通知画面が表示されます。iPhoneの場合は、「今日」をタップすると本アプリの通知を確認できます。

Androidスマートフォン



iPhone



1. スタンバイ／スタンバイ解除ボタン
2. 音量調整ボタン

ヒント

- 通知画面は、お使いのスマートフォンの機種によって異なる場合があります。

関連項目

- [時計を表示する](#)
- [天気を表示する](#)
- [プリインストールされているスライドショーを表示する](#)
- [スマートフォンの画面をミラーリングする（Androidスマートフォンのみ）](#)
- [ホームネットワーク上の機器の写真／動画を表示する](#)
- [ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する](#)
- [スマートフォンの写真／動画を表示する](#)
- [音量を調整する](#)
- [明るさを調整する](#)
- [フォーカスを調整する](#)
- [台形補正する](#)
- [投写画面を回転する](#)

ソフトウェアをアップデートする

プロジェクターとワイヤレスユニットのソフトウェアはネットワーク経由でアップデートします。アップデートするソフトウェアがある場合は、専用アプリのホーム画面右上に ●、および設定メニューの「アップデート」の項目に ① が表示されます。

- 1 プロジェクターの電源ボタンを長押しして、電源を入れる。
- 2 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面で ⚙（設定）ボタンをタップする。
- 3 「アップデート」 - 「アップデート」を順に選ぶ。
- 4 「アップデート実行」をタップし、以降画面に従ってアップデートを行う。




ワイヤレスユニットのアップデートも含まれる場合は、プロジェクターのアップデート実行後、ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を再生するときに実行されます。

ヒント

- アップデートするときは、プロジェクターをアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。
- アップデートファイルのサイズが大きい場合があるため、スマートフォンをWi-Fi接続してアップデートすることをおすすめします。
- ● / ① は、「アップデート」の「アップデート通知」を有効に設定しておく则表示されます。初期設定では有効に設定されています。
- 自動でソフトウェアをダウンロードしておくことができます。「アップデート」の「アップデート自動取得」を有効に設定しておく、スマートフォンがWi-Fi接続されているときに、アップデートするソフトウェアをスマートフォンにダウンロードします。アップデート実行にかかる時間を短縮できます。初期設定では有効に設定されています。

時計を表示する

投写画面に時計を表示します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 [ポスター] 右上の  をタップして、[ポスターの変更] を選択する。
ポスターモードを選択している場合は、[ポスターの変更] をタップします。
- 3 [天気/時計] をタップする。
- 4 お好みの時計表示を選ぶ。

ヒント




- 時計の時刻は、スマートフォンの時刻に合わせて自動で更新されます。

関連項目


- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

天気を表示する

投写画面に現在地の天気を表示します。天気情報は1～2時間ごとに更新されます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 【ポスター】右上の  をタップして、【ポスターの変更】を選択する。
ポスターモードを選択している場合は、【ポスターの変更】をタップします。
- 3 【天気/時計】をタップする。
- 4 【天気】をタップする。
- 5 【位置情報を更新】をタップし、画面に従って位置情報を設定する。

ヒント

- 天気情報を取得する位置情報を変更する場合は、【天気】の右にある  ボタンをタップして、画面の指示に従って設定してください。

ご注意




- 天気情報を取得できない場合、天気情報は更新されません。

関連項目

- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

プリインストールされているスライドショーを表示する

プリインストールされているスライドショーを表示します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 「ポスター」右上の  をタップして、「ポスターの変更」を選択する。
ポスターモードを選択している場合は、「ポスターの変更」をタップします。
- 3 「テーマ」をタップする。
- 4 スライドショーのジャンル（「A day」、「Journey」、「Night dreams」、「Window」）を選ぶ。

ヒント

- スライドショーの写真が切り替わる間隔を設定できます。

関連項目

- [スマートフォンの写真／動画をスライドショーで表示する](#)
- [写真が切り替わる間隔を設定する](#)
- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

配信ポスターを表示する

配信されるポスターをダウンロードして、ポスターの種類を増やすことができます。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。

1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

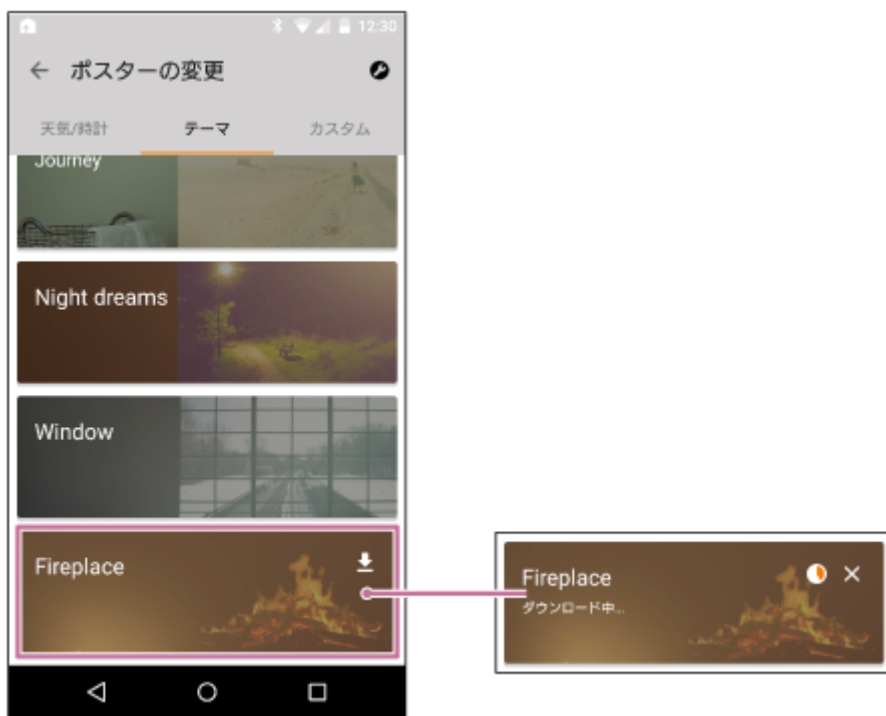
2 「ポスター」右上の  をタップして、「ポスターの変更」をタップする。


ポスターモードを選択している場合は、「ポスターの変更」をタップします。

3 「テーマ」をタップする。


4 お好みの配信ポスターをタップする。

ポスターのダウンロードを開始します。



が表示されているポスターがダウンロード可能な配信ポスターです。

ヒント

- ダウンロードした配信ポスターを削除したい場合は、 をタップし、メッセージが表示されたら「OK」をタップします。
- 配信ポスターのダウンロード中にXをタップすると、ダウンロードが中断します。ポスターをタップすると、ダウンロードを再開します。
- 配信ポスターにはダウンロード期限のないものと、あるものがあります。
ダウンロード期限内にダウンロードしていないポスターは自動的に削除されます。

関連項目




- [写真が切り替わる間隔を設定する](#)
- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

写真が切り替わる間隔を設定する

ポスターやスライドショーの写真が切り替わる間隔を設定できます。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ポスター/スライドショー設定] をタップする。
- 4 [写真の切り替え時間] をタップする。
- 5 時間を設定する。

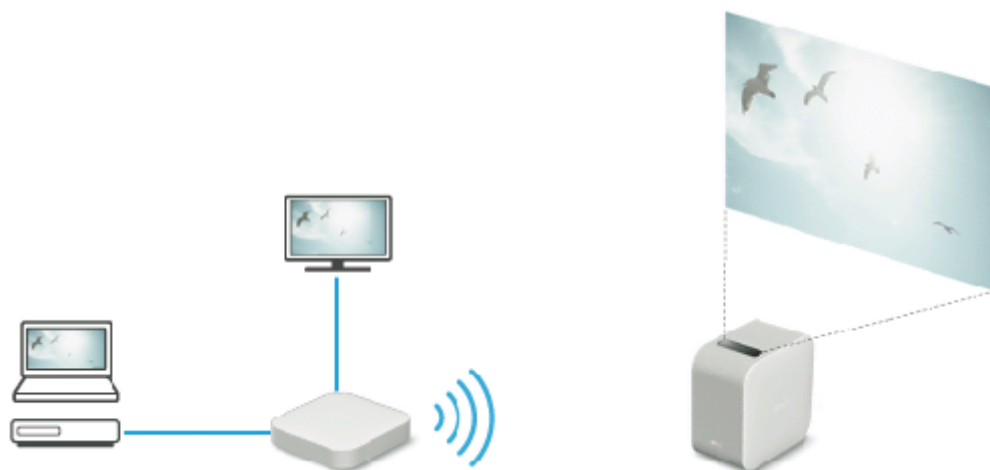
関連項目

- [プリインストールされているスライドショーを表示する](#)
- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を表示する

ブルーレイディスク™レコーダーやパソコンなどHDMI機器に保存されている映像を、プロジェクターで表示することができます。

ワイヤレスユニットにテレビを接続すると、ケーブルをつなぎ替えなくてもプロジェクターとテレビの両方でHDMI機器の映像を表示できます。



- 1 スマートフォンで / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 「外部入力（HDMI）」をタップする。
- 3 HDMI機器を操作して、プロジェクターで投写したい映像を再生する。

ヒント

- AVマウス（付属）を接続すると、HDMI機器のリモコンをプロジェクターに向けて操作できます。プロジェクターとHDMI機器が離れた場所にあるときなどに便利です。

関連項目

- [HDMI機器やテレビを接続する](#)
- [AVマウスを接続する](#)

スマートフォンの写真／動画を表示する

スマートフォンに保存されている写真や動画を、専用アプリを使ってプロジェクターで表示します。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続してください。





ご注意

- アクセスポイントへ接続できない場合は、プロジェクターをWi-Fi Directモードに設定してスマートフォンと直接接続してください。


① スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

② 「自分の写真」右上の  をタップして、「1枚表示」をタップする。

③ 表示したい写真や動画を選ぶ。

写真を選んだ場合は、（回転）ボタンをタップするたびに、写真を右回りに90°回転させることができます。
動画再生中に （再生）ボタンまたは （一時停止）ボタンをタップすると、再生／一時停止を切り替えることができます。
画面上部の  をタップすると、別の保存先の写真や動画を選べます。

ヒント




- （設定）ボタンをタップすると、音量や明るさなどを変更できます。
- プロジェクターが再生できるオーディオファイルは以下のフォーマットです。下記以外のフォーマットのファイルもリストに表示される場合がありますが、それらのファイルを指定しても再生されません。
 - MPEG2 AAC (AAC-LC)
 - MPEG4 AAC-LC
 - MPEG1 Layer 1/2
 - MP3 (MPEG1 Layer 3)
 - LPCM

関連項目

- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)
- [音量を調整する](#)
- [明るさを調整する](#)
- [フォーカスを調整する](#)
- [台形補正する](#)
- [投写画面を回転する](#)

スマートフォンの写真／動画をスライドショーで表示する

スマートフォンに入っている写真／動画をスライドショーで表示します。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。


- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 「自分の写真」右上の  をタップして、「スライドショー」をタップする。
- 3 サムネイル画面で、スライドショーに設定したい写真や動画を選んで「設定する」をタップし、画面に従って設定を完了する。

プロジェクターの「空き容量:」がいっぱいになるまで写真や動画を転送できます。
サムネイル画面に表示する写真や動画を、保存先ごとに切り替えることができます。画面上部のボタンをタップして、写真や動画の保存先を設定してください。



スライドショーの写真や動画を変更する

「自分の写真」の左下にある「スライドショー」をタップし、サムネイル画面で写真や動画を選びます。「設定する」をタップすると、プロジェクターに保存されている写真や動画が上書されます。

スライドショーの再生 順を設定する

「自分の写真」の左下にある「スライドショー」をタップし、（再生順）ボタンをタップします。再生順は「新しい順」、「古い順」、「ランダム」から選べます。

スライドショーのBGMを設定する

「自分の写真」の左下にある「スライドショー」をタップし、（BGM）ボタンをタップします。その後、「追加」をタップして、BGMに設定する曲を選びます。複数曲を選ぶことができ、選んだ順番に再生されます。曲を選んだら、画面左上のボタンをタップしてサムネイル画面に戻り、「設定する」をタップしてください。
曲の一覧画面で曲の追加、削除、曲順の変更を行うことができます。曲順を変更するには、順番を変えたい曲の右にある  をドラッグして、再生したい順番まで移動させます。

ヒント

- スライドショーの写真が切り替わる間隔を設定できます。
- プロジェクターが再生できるオーディオファイルは以下のフォーマットです。下記以外のフォーマットのファイルもリストに表示される場合がありますが、それらのファイルを指定しても再生されません。
 - MPEG2 AAC (AAC-LC)
 - MPEG4 AAC-LC
 - MPEG1 Layer 1/2
 - MP3 (MPEG1 Layer 3)
- サムネイル画面で写真を選ぶときに横ドラッグすると、写真を複数選択できます

関連項目

- [写真が切り替わる間隔を設定する](#)
- [プリインストールされているスライドショーを表示する](#)




- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

写真が切り替わる間隔を設定する

ポスターやスライドショーの写真が切り替わる間隔を設定できます。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ポスター/スライドショー設定] をタップする。
- 4 [写真の切り替え時間] をタップする。
- 5 時間を設定する。

関連項目

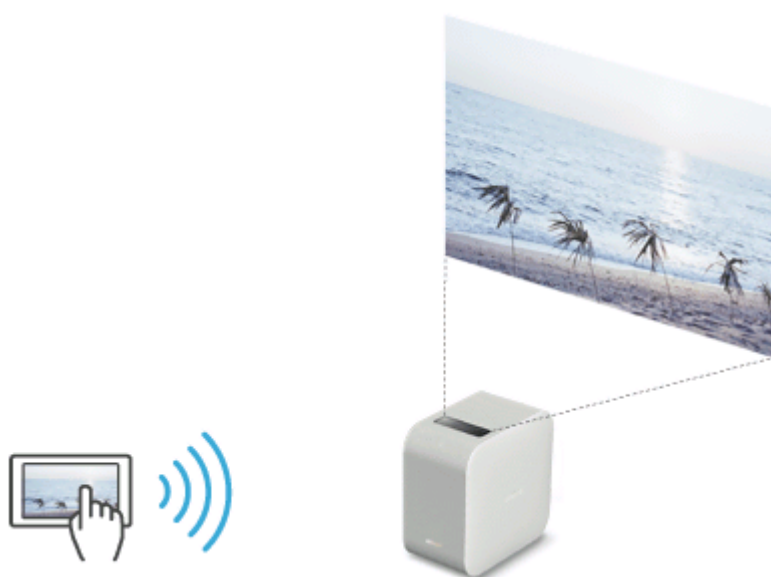
- [プリインストールされているスライドショーを表示する](#)
- [アクセスポイントに接続する](#)
- [Wi-Fi Directで接続する](#)



スマートフォンの画面をミラーリングする（Androidスマートフォンのみ）

Miracast対応のスマートフォンをお使いの場合は、スマートフォンの画面をプロジェクターに直接表示することができます。
アクセスポイント（無線LANルーター）との接続は必要ありません。

ご注意

- インターネット上のコンテンツをミラーリングする場合、お使いのスマートフォンの機種によっては対応していないものもあります。
- [Wi-Fi Direct] が有効に設定されている場合は、スマートフォン画面のミラーリングはできません。



- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 「ポスター」をタップしてプロジェクターをポスターモードにする。
- 3 スマートフォンをミラーリングモードにしてプロジェクターと接続する。
- 4 スマートフォンを操作して、プロジェクターに画面を表示する。



ホームネットワーク上の機器の写真／動画を表示する

ホームネットワーク機能を使って、ホームネットワーク上の機器（ブルーレイディスク™レコーダーなど）に保存された写真や動画を、プロジェクターで表示することができます。

あらかじめ、プロジェクターとスマートフォンを、ホームネットワーク対応機器と同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続してください。

ご注意

- ホームネットワーク上の機器の写真や動画を表示するには、スマートフォンにコントロール機能対応のアプリケーション（Video & TV SideViewなど）がインストールされている必要があります。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 「ポスター」をタップしてプロジェクターをポスターモードにする。
- 3 コントロール機能対応のアプリケーションを起動する。
- 4 プロジェクターを出力先に指定して、写真や動画を表示する。



ヒント

- ホームネットワーク機能で表示できる静止画のサイズは、JPGの場合は32M画素（8,192 x 4,096画素）まで、PNG／GIFの場合は3M画素（2,048 x 1,024画素）までとなります。
- 1080/60i、1080/24pで撮影したAVCHD形式の動画は、ホームネットワーク経由では表示できません。表示したい場合は、再生する機器をHDMIケーブルでワイヤレスユニットに接続して「外部入力（HDMI）」で表示してください。




ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

音量を調整する

プロジェクターの音量を調整します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 ホーム画面の音量のスライダーで調節する。

【設定】メニューから調整するには

1. （設定）ボタンをタップする。
2. 「音量」のスライダー、または   で調整する。

ヒント

- スマートフォンの通知画面に表示される「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」の通知から音量を調整することもできます。






関連項目

- [音質を設定する（xLOUD）](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

明るさを調整する

投写画面の明るさ（輝度）を調整します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 「明るさ」のスライダー、または   で調整する。

周囲の明るさに合わせて自動で調整する

「自動」をタップしてチェックマークを付けます。充電電池で動作中は、「自動」は無効になります。






関連項目

- [画質を設定する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

フォーカスを調整する

投写画面のフォーカスを調整します。

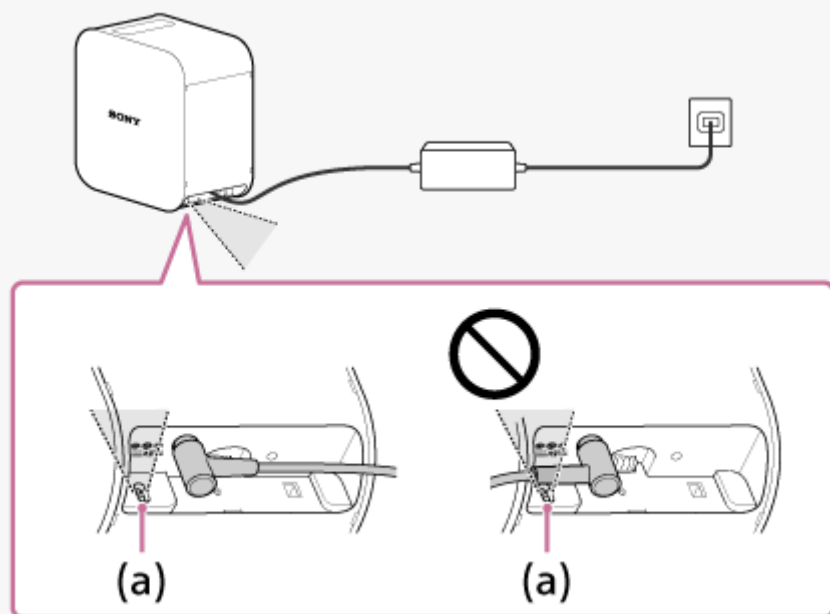
- 1 スマートフォンで  /  (ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション) を起動する。
- 2  (設定) ボタンをタップする。
- 3 [フォーカス] の  /  ボタン、またはスライダーをタップして調整する。

フォーカスを自動で調整する

[自動] をタップしてチェックマークを付けます。

ご注意

- フォーカスの自動調整機能は、プロジェクター背面の測距センサーで投写画面までの距離を測ってフォーカスを合わせます。下記の場合は測距センサーで正しく距離が測れず、自動でフォーカスが合わないことがあります。
 - プロジェクターと投写画面の間に障害物があるとき
 - プロジェクターを台などの上にのせているとき
 - プロジェクターにつないでいるACアダプターが測距センサー (a) をふさいでいるとき



- 投写画面のサイズが60型以上の場合は、フォーカスの自動調整機能が働きません。
- プロジェクターの設置場所、投写する壁などの材質によっては、自動でフォーカスが合わないことがあります。
- 自動でフォーカスが合わない場合は [自動] を無効にしてから、手動で調整してください。

台形補正する

投写画面の歪みかたによって、対応のしかたが異なります。

投写画面の上下の長さが違う場合

専用アプリで台形の歪みを調整します。



- 1 スマートフォンで / (ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション) を起動する。
- 2 (設定) ボタンをタップする。
- 3 「台形補正」のスライダーまたは / ボタンをタップして調整する。

投写画面の左右の長さが違う場合

正面から投写するようプロジェクターの置き場所や向きを変更してください。






ご注意

- (設定) の「台形補正」で調整した場合、映像にジャギー（ギザギザ）が出る場合があります。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

投写画面を回転する

投写画面の向きを180°回転します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 **R** または **Y** ボタンをタップする。




投写画面の向きを自動で回転する

〔自動〕をタップしてチェックマークを付けます。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

起動時に常にポスターを表示する

プロジェクターをスタンバイ状態から起動したときに、常にポスターを表示するよう設定します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ON/スタンバイ設定] - [ONのときのモード] を順に選ぶ。
- 4 [ポスター] を選択する。




[最後に表示していたモード] に設定すると、前回表示していたモードを表示します。

ヒント

- お買い上げ時は [最後に表示していたモード] に設定されています。

自動ON／スタンバイの設定をする

時間を指定して、または近くにスマートフォンがあるかどうかを検知して、プロジェクターの電源をスタンバイ状態にすることができます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ON/スタンバイ設定] をタップする。
- 4 [自動ON/スタンバイ] をタップする。
- 5 設定したい項目を選ぶ。

設定項目

【しばらく無操作でスタンバイ】

ポスターモードのとき、周囲が暗い状態で20分以上何も操作しないとスタンバイ状態にして投写画面を暗くします。スイッチをタップするたびに、設定の有効／無効が切り替わります。

【時間を指定してON】

指定した時間になるとスタンバイ状態を解除して投写画面を表示します。[時間を指定してON] をタップすると設定画面が表示されます。スイッチをタップして有効にし、時間を指定します。スイッチをタップするたびに、設定の有効／無効が切り替わります。

【時間を指定してスタンバイ】

指定した時間になるとスタンバイ状態にして投写画面を暗くします。[時間を指定してスタンバイ] をタップすると設定画面が表示されます。スイッチをタップして有効にし、時間を指定します。スイッチをタップするたびに、設定の有効／無効が切り替わります。

【スマートフォンが近づいたらON】

スマートフォンを検知したときに、スタンバイ状態を解除して投写画面を表示します。スイッチをタップするたびに、設定の有効／無効が切り替わります。この設定を使うには、スマートフォンのBluetooth機能をONにしておいてください。iPhoneの場合は、この機能を正常に動作させるために、iPhoneの設定から[ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション] - [位置情報] を「常に許可」に設定してください。

【スマートフォンが離れたらスタンバイ】

スマートフォンが離れたことを検知したときに、スタンバイ状態にして投写画面を暗くします。スイッチをタップするたびに、設定の有効／無効が切り替わります。この設定を使うには、スマートフォンのBluetooth機能をONにしておいてください。iPhoneの場合は、この機能を正常に動作させるために、iPhoneの設定から[ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション] - [位置情報] を「常に許可」に設定してください。

ヒント




- スマートフォンとプロジェクターを接続すると、スマートフォンの時刻に合わせてプロジェクターの時刻が自動で更新されます。
- プロジェクターの電源ボタンでスタンバイ状態にしたあとスマートフォンを持ってその場を離れ、5分以内に戻ってきても、[スマートフォンが近づいたらON] 機能が働かない場合があります。その場合には、手動でスタンバイ状態を解除してください。

- プロジェクターの電源を入／切する
- プロジェクターをスタンバイ状態にする

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

画質を設定する

プロジェクターの画質を設定します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 「画質設定」をタップする。
- 4 設定したい項目を選ぶ。

設定項目

【プリセット1】


白い壁やテーブル／床に投写する場合に適しています。

【プリセット2】、【プリセット3】

黄色がかった壁やテーブル／床に投写する場合に適しています。お好みの色合いを選んでください。

【カスタム1】、【カスタム2】

お買い上げ時、【カスタム1】は明るさを優先した設定、【カスタム2】は自然な映像に適した設定になっています。

 ボタンをタップしてお好みに合わせた設定に変更できます。設定できる項目は以下のとおりです。




【彩度】、【ブライトネス】、【コントラスト】、【シャープネス】、【ホワイトバランス】
【標準値に戻す】をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

関連項目

- [明るさを調整する](#)

【自分の写真】の【1枚表示】で表示する動画の画質を設定する（iPhoneのみ）

iPhoneに保存されている動画を、【自分の写真】の【1枚表示】で表示するときの画質を設定できます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 【自分の写真設定】をタップする。
- 4 【1枚表示の動画の画質】をタップする。
- 5 設定したい項目を選ぶ。

設定項目

【画質優先】

動画をそのままの画質で再生します。

【なめらかさ優先】

動画をなめらかに再生するために、画質を落として再生します。




ご注意

- 【なめらかさ優先】に設定されている場合、動画によっては再生開始までにより時間がかかることがあります。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

音質を設定する（xLOUD）




「xLOUD」は再生レベルを強調するオーディオ再生技術です。映画など迫力ある音質を楽しむことができます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）をタップする。
- 3 [音質設定] をタップする。
- 4 [xLOUD] のスイッチをタップして有効／無効を切り替える。


ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

本機の機器名を変更する

ホームネットワーク上で表示されるプロジェクターの名称を変更します。お買い上げ時は「LSPXP1」に設定されています。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ネットワーク設定] をタップする。
- 4 [機器名] をタップする。
- 5 機器名を入力する。

ヒント

- 変更した機種名は、専用アプリのホーム画面左上の  をタップして確認できます。



アクセスポイントに接続する

下記のようなときに、プロジェクターとアクセスポイント（無線LANルーター）の接続が必要です。スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続してください。

- スマートフォンの写真や動画をプロジェクターで表示するとき
- ポスターの操作をするとき
（天気情報の更新、配信ポスターのダウンロード）
- 本機のソフトウェアをアップデートするとき
- プロジェクターの言語設定を変更するとき

1 スマートフォンをアクセスポイントに接続する。

2 スマートフォンで / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

3 （設定）ボタンをタップする。

4 [ネットワーク設定] をタップする。


5 [Wi-Fi] をタップする。

6 [接続] をタップしてアクセスポイントに接続する。


パスワードの入力が必要なアクセスポイントに接続する場合は、[パスワード] をタップしてパスワードを入力してください。

WPS（Wi-Fi Protected Setup™）機能に対応したアクセスポイントに接続する場合は、[Wi-Fi Protected Setup™ で接続] をタップし、接続方式を選び、画面の指示に従って操作してください。

過去に接続したことのあるアクセスポイントに接続する

Wi-Fi画面で、 ボタンをタップし、[接続先履歴] をタップすると、接続したアクセスポイントが表示されます。接続するアクセスポイントをタップしてください。

アクセスポイントを削除する

Wi-Fi画面で、 ボタンをタップし、[現在の接続先の設定を削除] をタップすると、現在接続中のアクセスポイントが削除されます。

[接続先履歴] に表示されているアクセスポイントを削除するには、削除したいアクセスポイントを長押ししてください。

ヒント

- 「アクセスポイント」や「暗号キー（パスワード）」の名称はメーカーにより異なります（「暗号キー」「KEY」「WEPキー」「セキュリティキー」「パスフレーズ」「ネットワークキー」など）。不明な場合はアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- アクセスポイントのAOSSボタンがWPSに対応していることがあります。WPSに対応しているかどうかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [電波状況を確認する](#)

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

Wi-Fi Directで接続する

アクセスポイント（無線LANルーター）を使わずに、本機とスマートフォンを直接接続できます（Wi-Fi Direct）。

ご注意

- [Wi-Fi Direct] を有効にした場合は、スマートフォン画面のミラーリングはできません。また、HDMI機器に接続すると [Wi-Fi Direct] が無効になります。
- [Wi-Fi Direct] を有効にすると、スマートフォンはプロジェクターと1対1の接続になるため、アクセスポイント（無線LANルーター）とのWi-Fi接続ができなくなります。ご使用のあとは、[Wi-Fi Direct] を無効にしてください。

1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

2 （設定）ボタンをタップする。

3 [ネットワーク設定] をタップする。

4 [Wi-Fi Direct] をタップする。

5 [Wi-Fi Direct] のスイッチをタップして有効にする。

Androidスマートフォンは自動で本機に接続します。iPhoneをお使いの場合、またはAndroidスマートフォンが自動で接続しない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面から本機に接続してください。

[Wi-Fi Direct] を無効にする




[Wi-Fi Direct] のスイッチをタップします。

関連項目


- [スマートフォンの写真／動画を表示する](#)

電波状況を確認する

プロジェクターとワイヤレスユニットおよびアクセスポイントとの無線LAN接続、プロジェクターとスマートフォンとのBluetooth接続の電波状況を確認します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ネットワーク設定] をタップする。
- 4 [電波の強さ] をタップする。

ヒント

- （更新）ボタンをタップすると、電波状況が更新されます。

ご注意

- プロジェクターとワイヤレスユニット間の電波状況は、プロジェクターを「外部入力 (HDMI)」モードにしているときのみ表示されます。
- プロジェクターとアクセスポイント（無線LANルーター）間の電波状況は、下記の機能を使っているときは表示されません。
 - － 「外部入力 (HDMI)」モードに設定されているとき
 - － スマートフォンの画面をミラーリングしているとき
 - － Wi-Fi Directモードで接続しているとき

関連項目

- [アクセスポイントに接続する](#)

スマートフォン接続時に登録確認を行う

本機に未登録のスマートフォンからアクセスした場合に、確認画面を表示して自動登録を制限することができます。

① スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。

② （設定）ボタンをタップする。

③ [ネットワーク設定] をタップする。

④ [スマートフォンの新規登録制限] のスイッチをタップして有効／無効を切り替える。




有効にした場合、未登録のスマートフォンから接続するときはPINコードの入力が必要です。PINコードはプロジェクターの投写画面に表示されます。

関連項目

- [接続するスマートフォンを管理する](#)

接続するスマートフォンを管理する

本機に登録されているスマートフォンからのアクセスを、個別に許可／拒否することができます。また、登録を削除することもできます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ネットワーク設定] をタップする。
- 4 [アクセス機器一覧] をタップする。
- 5 設定を変更したい機器をタップする。
- 6 [許可] または [拒否] を選ぶ。
[アクセス機器一覧から削除] をタップすると、登録を削除できます。

ご注意




- 登録を削除しても、削除した機器から再度プロジェクターにアクセスすると、アクセス機器一覧に登録されます。自動登録を拒否したい場合は、[スマートフォンの新規登録制限] を有効にしておくことをおすすめします。
- [拒否] を設定できるのは7台までです。

関連項目

- [スマートフォン接続時に登録確認を行う](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1




Wi-Fi MACアドレスを確認する

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [ネットワーク設定] をタップする。
- 4 [Wi-Fi MACアドレス] を確認する。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

プロジェクターの言語設定を変更する

お買い上げ時は、「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」と同じ言語で表示されます。
あらかじめ、スマートフォンとプロジェクターを同じアクセスポイント（無線LANルーター）に接続してください。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 [プロジェクターの言語設定] をタップする。
- 4 設定したい言語を選ぶ。

ソフトウェアをアップデートする

プロジェクターとワイヤレスユニットのソフトウェアはネットワーク経由でアップデートします。アップデートするソフトウェアがある場合は、専用アプリのホーム画面右上に ●、および設定メニューの「アップデート」の項目に ① が表示されます。

- 1 プロジェクターの電源ボタンを長押しして、電源を入れる。
- 2 「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」のホーム画面で ⚙（設定）ボタンをタップする。
- 3 「アップデート」 - 「アップデート」を順に選ぶ。
- 4 「アップデート実行」をタップし、以降画面に従ってアップデートを行う。

ワイヤレスユニットのアップデートも含まれる場合は、プロジェクターのアップデート実行後、ワイヤレスユニットに接続したHDMI機器の映像を再生するときに実行されます。




ヒント

- アップデートするときは、プロジェクターをアクセスポイント（無線LANルーター）に接続しておいてください。
- アップデートファイルのサイズが大きい場合があるため、スマートフォンをWi-Fi接続してアップデートすることをおすすめします。
- ● / ① は、「アップデート」の「アップデート通知」を有効に設定しておく则表示されます。初期設定では有効に設定されています。
- 自動でソフトウェアをダウンロードしておくことができます。「アップデート」の「アップデート自動取得」を有効に設定しておく、スマートフォンがWi-Fi接続されているときに、アップデートするソフトウェアをスマートフォンにダウンロードします。アップデート実行にかかる時間を短縮できます。初期設定では有効に設定されています。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

設定値を初期値に戻す

専用アプリの設定内容を初期値に戻します。設定内容を初期値に戻しても、プロジェクターに転送したスライドショーやBGMの設定はそのまま残ります。




- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 **【初期化】** をタップする。
- 4 **【設定値の初期化】** をタップし、以降画面に従って初期化を行う。

関連項目

- [本機に転送したコンテンツを削除する](#)

本機に転送したコンテンツを削除する

プロジェクターに転送した画像やBGMを削除します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 **【初期化】** をタップする。
- 4 **【転送したコンテンツの削除】** をタップし、以降画面に従って初期化を行う。

ご注意




- 上記の操作をすると、配信コンテンツもすべて削除されます。
一度削除された配信コンテンツは、期限を過ぎると再び転送することはできません。

関連項目

- [設定値を初期値に戻す](#)


専用アプリで操作するプロジェクターを確認する

複数のプロジェクターをお持ちの場合に、プロジェクターの追加登録や操作機器の変更ができます。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 **【プロジェクターの追加/変更】をタップする。**

専用アプリに登録したプロジェクターが表示されます。操作中の機器には  が表示されています。

プロジェクターを追加登録する




（追加）ボタンをタップし、画面の指示に従って追加登録します。

操作するプロジェクターを変える

操作するプロジェクターをタップします。

プロジェクターとワイヤレスユニットを再ペアリングする

お買い上げ時は、プロジェクターとワイヤレスユニットはあらかじめペアリングされています。修理を行った場合など、プロジェクターとワイヤレスユニットのペアリングが解除されたときに再ペアリングを行ってください。

- 1 ワイヤレスユニットからACアダプターを抜く。
- 2 約10秒後に、ワイヤレスユニットにACアダプターを再度つなぐ。
- 3 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 4 （設定）ボタンをタップする。
- 5 「初期化」をタップする。
- 6 「ワイヤレスユニットのペアリング」をタップする。
- 7 ワイヤレスユニットのPAIRINGボタンの位置を確認し、「開始」をタップする。
- 8 以降画面に従って再ペアリングを行う。

ペアリング中のランプ表示について

ペアリング中は、ワイヤレスユニット前面のランプが下記のように点滅します。

- 白が1.5秒ごとに2回点滅：プロジェクターとペアリング中です。
- 赤の点滅：ペアリングに失敗しました。

ヒント




- PAIRINGボタンは、クリップなど先の細いもので押してください。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

お知らせを確認する

新しい配信ポスターなど本機に関するお知らせを表示します。

新しいお知らせがある場合は、設定メニューの「お知らせ」の項目に ● が表示されます。 ● 内の数字は未読件数を示します。

- 1 スマートフォンで  / （ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション）を起動する。
- 2 （設定）ボタンをタップする。
- 3 「お知らせ」をタップする。
お知らせの一覧が表示されます。

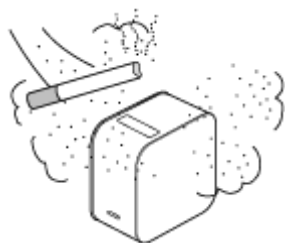
関連項目

- [配信ポスターを表示する](#)

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。本機の故障の原因となります。
- 本機の動作温度は5℃～35℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での使用は故障の原因となります。
- ほこりやたばこの煙が多い場所に、本機を置かないでください。ほこりやたばこのヤニが本体内部の部品（投写窓など）に付いて故障の原因となります。



- 異常に高温、低温、または多湿になる場所に置かないでください。炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 本機の無線機能は日本国内専用です。海外では国／地域によって電波使用制限があるため、本機の無線機能を使用した場合、罰せられることがあります。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少の音が生じます。これは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはソニーの相談窓口にご相談ください。

光源まわりの点検について

本機はレーザーを使用しているため、光源まわりの点検等の整備を行う場合は、特別な注意と環境が必要です。必ずソニーの相談窓口にご依頼ください。

レーザー光源について

電源ランプが白く点灯しているときは、レーザー光が放出されています。
以下の注意をお守りください。

- レーザー光をのぞきこまないこと
- レーザー光を人に向けないこと
- 子供に使わせないこと

プロジェクターについて

- 本機は非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒や白の点が現れて消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。また、複数台のプロジェクターを並べてスクリーンへ投写する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種を組み合わせてあってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。
- ご視聴になるコンテンツによっては視線を動かした場合などに赤・青・緑などの原色が見える場合がありますが、故障ではありません。これは本製品の画像表示方式であるフィールドシーケンシャル駆動特有の「カラーブレイク」現象によるものです。プロジェクターの明るさを下げるか部屋を明るくするなどして、周囲環境と映像とのコントラストを下げることでこの現象を軽減できます。

結露について

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きた場合、結露がなくなるまで、電源を切って放置してください。結露があるときにご使用になると、故障の原因となります。

本機の発熱についてのご注意

- 本機を使用中や充電中は、本体やACアダプターが熱くなることがありますが、動作上問題はありません。本体の温度上昇が著しい場合、安全のために強制的にシャットダウンすることがあります。このような場合は、本体が冷えてから涼しい場所でお使いください。
- 本機やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは故障が考えられます。すぐに電源を切り、ACアダプターの電源コードを抜いて使用を中止し、ソニーの相談窓口までご連絡ください。

充電について

- 周囲の温度が5℃～35℃の環境で充電してください。この範囲外では十分に充電ができないことがあります。
- 本機を充電中や使用中は、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 長期間使用しない場合、充電電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 使用可能時間が通常の半分くらいに低下した場合は、充電電池の寿命と考えられます。充電電池の交換については、ソニーの相談窓口にご相談ください。

AC電源の遮断について

電源ボタンを押して電源を切っても、本機は、電源からは完全には遮断されていません。電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。

不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。

他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度リファレンスガイド、スタートガイド、ヘルプガイドをよく読んでから、ソニーの相談窓口にご相談ください。

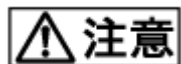
ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

お手入れ

- 必ずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 投写窓面のお手入れのしかた：
メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水を少し含ませて拭きとってください。アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 外装のお手入れのしかた：
柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 投写窓を素手で触らないでください。

本機を廃棄するときは

- 情報の漏洩を防ぐために、本機を廃棄、譲渡する前に「転送したコンテンツの削除」を行うことをおすすめします。
- 本機を廃棄する場合は、一般ごみに混ぜて捨てないでください。
本機はリチウムイオン充電電池を内蔵していますので、ゴミ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、漏液、発熱、発火、破裂などの危険があります。



日本国内での充電式電池の廃棄について



Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様ご自身では行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。

関連項目

- [本機に転送したコンテンツを削除する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

主な仕様

ポータブル超短焦点プロジェクター（LSPX-P1）

■プロジェクター

投写方式

SXRD・3原色液晶シャッター投写方式

表示素子

0.37型 SXRD x1

1,366 x 768画素

フォーカス調整

電動（オートフォーカス^{*1}）

投写画面サイズ

22型～80型

光源

レーザーダイオード

明るさ

100 lm

■バッテリー

内蔵リチウムイオンバッテリー

駆動時間

約2時間^{*2}

充電時間

約4時間

■オーディオ

スピーカー

直径約25 mm 2個（モノラル）バスレフ方式

アンプ

2 W + 2 W モノラル（4 Ω）

xLOUD

対応

■無線

無線LAN

IEEE802.11a/b/g/n（2.4 GHz帯、5 GHz帯）、MIMO対応

Bluetooth

Bluetooth 4.0（Bluetooth Low Energy）

■その他

Miracast対応

内蔵ストレージ

4 GB^{*3}

センサー

加速度（姿勢）センサー、照度センサー、測距センサー、IRリモコン受光部（AVマウス対応）

対応コーデック／フォーマット

静止画：JPEG、GIF、PNG、BMP

動画^{*4}：MPEG-2、H.264、MPEG-4、H.263

スマートフォンアプリケーション

ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション

対応OS／機種

Android：Android 4.4以降（Bluetooth 4.0（Bluetooth Low Energy）対応）

iOS：iOS 9を搭載したiPhone 4s以降、iPod Touch第5世代以降、iPad第3世代以降、iPad mini

動作環境条件

温度：5℃～35℃

湿度：20%～80%

（ただし結露しないこと、および35℃における湿度は65%以下）

電源

DC 19.5V（ACアダプター VGP-AC19V77）

消費電力

電源オン時：約18 W、約32 W（充電中）

スタンバイ時：約9 W、約23 W（充電中）

外形寸法（幅 x 高さ x 奥行き）

約81 mm x 131 mm x 131 mm

質量

約930 g

*1 投写する壁の材質や本体が設置される場所によっては、自動ではフォーカスが合わない場合があります。その場合、マニュアル操作でフォーカスを調整してください。

*2 「画質設定」を「プリセット1」に設定し、約80%の音量で動画を再生した場合の電池持続時間です。

*3 システム領域とユーザー領域を共用しています。

*4 再生できる動画サイズは1080pまでです。

ワイヤレスユニット（LSPX-PT1）

■入力／出力

HDMI IN端子

HDMI OUT（パススルー）端子

AVマウス（IR BLASTER）端子（ミニジャック）

■無線

無線LAN

IEEE802.11a/n（5 GHz帯）、MIMO対応

■対応入力信号フォーマット

480p、720p、1080p

■その他

動作環境条件

温度：5℃～35℃

湿度：20%～80%

（ただし結露しないこと、および35℃における湿度は65%以下）

電源

DC 5V（ACアダプター LSPX-AC5V2）

消費電力

動作時：最大約10 W

外形寸法（幅 x 高さ x 奥行き）

約135 mm x 35 mm x 135 mm

質量

約200 g

別売アクセサリー

フロアスタンド LSPX-PS1

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

プロジェクターの電池持続時間

プロジェクターは、満充電の状態ですべての機能を使用できます。

ヒント

- [画質設定] を [プリセット1] に設定し、約80%の音量で動画を再生した場合の電池持続時間です。
- 周囲の温度や使用状況により、上記の時間と異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによって、電池持続時間に差が出る場合があります。

商標について

- "xLOUD"はソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMIロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Bluetooth®スマートフォードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。
- Wi-Fi、Wi-Fi Direct、MiracastおよびWi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Google Play」「YouTube」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Apple、Apple ロゴ、iPhone、iPod touch、iPad、iPad miniは米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、®マークは表記していません。本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

HDMI



ライセンスについて

1. MPEG-2 Video

(1-1)エンコーダ製品の販売・頒布

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：6312 S. Fiddlers Green Circle, Suite 400E, Greenwood Village, CO 80111 U.S.A.) より取得可能です。

2. MPEG-4 Visual

エンコーダ／デコーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i)消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 VISUAL規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG-4 VISUAL VIDEOといいます）にエンコードすること。(ii)MPEG-4 VISUAL VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com))をご参照下さい。

3. MPEG-4 AVC

(3-1)エンコーダ／デコーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i)消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii)AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

(3-2)Computer OSのOEM供給

本製品は、AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、本製品及び本注意書きに記載された範囲でのみライセンスされるものであり、本製品と同一製品上に含まれるその他の製品に対しては、ライセンスは及びません。本件に関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

4. VC-1

(4-1)エンコーダ／デコーダ製品の販売・頒布

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i)消費者が個人的、非営利の使用目的で、VC-1 規格に合致したビデオ信号(以下、VC-1 VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii)VC-1 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

(4-2) Computer OSのOEM供給

本製品は、VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、本製品及び本注意書きに記載された範囲でのみライセンスされるものであり、本製品と同一製品上に含まれるその他の製品に対しては、ライセンスは及びません。本件に関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
当社では、ポータブル超短焦点プロジェクターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、
製造打ち切り後8年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

問い合わせ先

最新のサポート情報

最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせ情報をサポートページでご確認ください。

<http://www.sony.jp/support/projector/>

それでも解決しないときは、下記の窓口へご相談ください。

修理相談窓口


- フリーダイヤル : 0120-222-330
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話 : 050-3754-9599

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「203」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

- FAX : 0120-333-389

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

色がおかしい


- 投写する壁やテーブルなどの色によっては映像が正しく表示されない場合があります。「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」で （設定）ボタン → [画質設定] を選び、画質を調整してください。
- 本機を低温の環境でご使用の際には、電源を入れた直後は色が薄くなったり、色が正しく表示されなかったりする場合があります。しばらくすると、正常に表示されるようになります。

関連項目

- [画質を設定する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

投写画面が歪んでいる

- 投写画面の上下の長さが違う場合は、「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」で （設定）ボタンをタップし、[台形補正]で調整してください。



- 投写画面の左右の長さが違う場合は、正面から投写するようプロジェクターの置き場所や向きを変更してください。



関連項目

- [台形補正する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

投写画面に影ができる

- 投写画面に凸凹があると影ができることがあります。凸凹のないフラットな面に投写することをおすすめします。

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

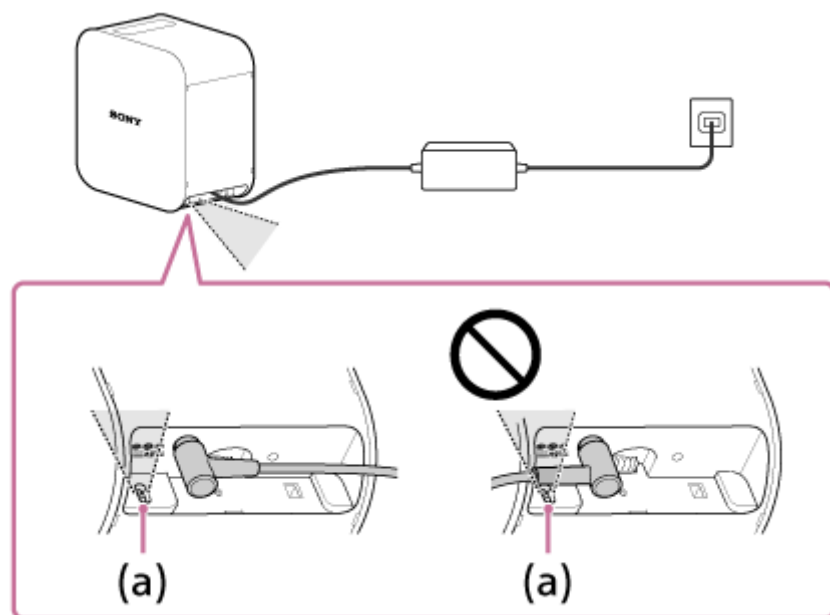
投写画面がちらつく、小さい点のノイズが表示される


- ダイレクトレーザーを使用しているため、スペックル（投写画面上にギラギラした粒）が見えることがあります。故障ではありません。部屋を明るくする、光沢のないマットな面に投写することなどである程度低減することができます。

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

フォーカスが合わない

- プロジェクター背面の測距センサーで投写画面までの距離が測れないと、フォーカスの自動調整機能が正しく働かないことがあります。下記のように設置状況を変えてみてください。
 - プロジェクターと投写画面の間の障害物をなくす
 - プロジェクターを台などの上から降ろす
 - プロジェクターにつないでいるACアダプターで測距センサー（a）をふさがないようにする



- 投写画面のサイズが60型以上の場合は、フォーカスの自動調整機能が働きません。
- プロジェクターの設置場所、投写する壁などの材質によっては、自動でフォーカスが合わないことがあります。
- 自動でフォーカスが合わない場合は「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」で （設定）ボタンをタップし、［自動］を無効にします。手動でフォーカスを調整してください。

関連項目

- [フォーカスを調整する](#)

HDMI機器の映像が表示されない、表示が乱れる

- ワイヤレスユニットのHDMI IN端子にHDMIケーブルが正しく差し込まれているか確認してください。
- ワイヤレスユニットのHDMI IN端子にHDMIケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。それでも解決できない場合は、HDMIケーブルを抜き差ししてみてください。
- プロジェクターやワイヤレスユニットの置き場所、電波状況によっては、HDMI機器の映像が正しく表示されない場合があります。置き場所や向きを変更してください。
- プロジェクターとワイヤレスユニットの間に電波をさえぎる障害物がないか、距離が離れすぎしていないか確認してください。
- 入力される映像信号がインターレース信号のときに、映像が乱れる場合があります。
「HDMIの入力映像がインターレース形式のため映像が乱れる場合があります。 ワイヤレスユニットに接続した機器の出力設定を確認してください。」というメッセージが表示された場合は、HDMI出力機器の出力解像度を「自動」、「1080p」、「720p」のいずれかに設定してください。

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

投写画面が自動的に暗くなった、または投写画面が消えた

- 高温の環境でお使いになった場合、または吸気口／排気口をふさいだ状態でお使いになった場合、プロジェクター内の温度を下げるため、自動的に輝度（明るさ）を下げる機能が働きます。輝度を下げた状態でもプロジェクター内の温度が下がらないときは、機器を保護するため投写を止める機能が働きます。

4-582-004-01(6) Copyright 2016 Sony Corporation

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

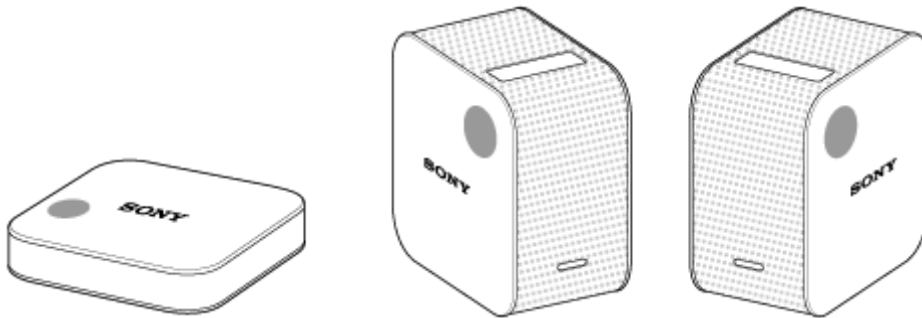
自動的に投写画面が消える、または投写画面が表示される

- 「スマートフォンが離れたらスタンバイ」の設定が有効になっていると、スマートフォンを検知しなくなったときに、スタンバイ状態にして投写画面を暗くします。また、「スマートフォンが近づいたらON」の設定が有効になっていると、スマートフォンを検知したときに、スタンバイ状態を解除して投写画面を自動的に表示します。この2つの設定は、スマートフォンのBluetooth機能がONになっているときに働きます。

画像が乱れる

- 本機は無線LANとBluetooth通信を利用しているため、本機とワイヤレスユニット（またはお使いのスマートフォン）との間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。その場合、設置場所を変えるか、お使いの機器と本機との距離を近づけてください。
- 他の無線LANやBluetooth通信を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。その場合、他の無線搭載機器との距離を離してください。改善しない場合は、他の無線搭載機器の電源を切ってください。

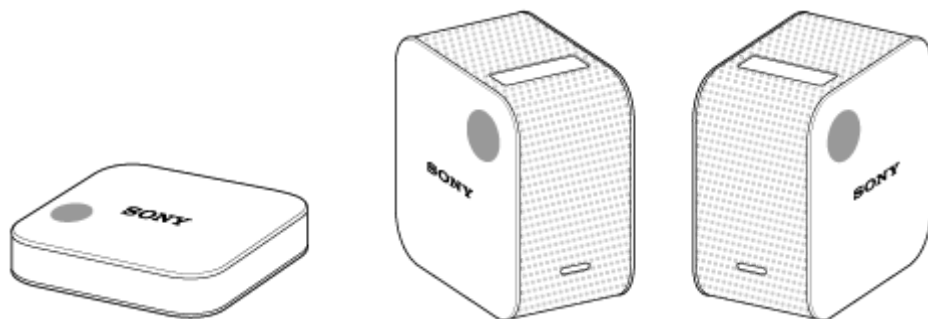
無線アンテナは図の ● 付近にあります。



専用アプリで操作できない

- 他のスマートフォンの専用アプリからプロジェクターを操作している場合は、同じプロジェクターを操作できません。他のスマートフォンで使用中の専用アプリを終了してください。または他のスマートフォンのBluetooth機能をOFFにしてください。
- 本機は無線LANとBluetooth通信を利用しているため、本機とワイヤレスユニット（またはお使いのスマートフォン）との間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。その場合、設置場所を変えるか、お使いの機器と本機との距離を近づけてください。
- 他の無線LANやBluetooth通信を搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能の原因になる場合があります。その場合、他の無線搭載機器との距離を離してください。改善しない場合は、他の無線搭載機器の電源を切ってください。

無線アンテナは図の ● 付近にあります。



ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

スマートフォンとBluetooth接続できない

- スマートフォンのBluetooth機能がONであることを確認してください。
- スマートフォンのBluetooth機能がONになっていても接続できない場合は、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにして再度ONにしてください。
- 複数台のスマートフォンで同時に専用アプリを使用することはできません。他のスマートフォンで使用中の専用アプリを終了してください。または他のスマートフォンのBluetooth機能をOFFにしてください。
- プロジェクターの電源を切り、もう一度入れてみてください。
- プロジェクターとスマートフォンのペアリングをやり直してください。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

関連項目

- [プロジェクターの電源を入／切する](#)
- [専用アプリをインストールして初期設定する](#)

ポータブル超短焦点プロジェクター
LSPX-P1

【機器登録情報が不正です】と表示され、スマートフォンとBluetooth接続できない

- 以下の手順でプロジェクターとスマートフォンの接続をやり直してください。

Androidスマートフォンの場合：

1. スマートフォンのBluetooth設定で、ペアリングされた機器のプロジェクター機器名右側に表示されている⚙️を選び、接続を切断する。
2. 専用アプリを起動して、再度操作する。
プロジェクターとスマートフォンが自動的にBluetooth接続されます。

iPhoneの場合：

1. iPhoneのBluetooth設定で、プロジェクターの機器名右側に表示されている ⓘ を選び、登録を解除する。
2. 専用アプリを起動して、再度操作する。
プロジェクターとスマートフォンが自動的にBluetooth接続されます。

本機の特長

本機は、レーザー光源と超短焦点レンズを用いた「ポータブル超短焦点プロジェクター」です。スマートフォンに本機専用アプリ「ポータブル超短焦点プロジェクターアプリケーション」をインストールして、アプリで本機を操作します。スマートフォンのコンテンツや、付属のワイヤレスユニットにつないだHDMI機器の映像を壁に投写して楽しめます。

壁際に置くだけで、22型～80型の映像を至近距離で壁に投写します。壁だけではなく、テーブルや床などにも22型の映像を投写できます。リチウムイオン充電電池、スピーカーを内蔵しており、配線を気にすることなく好きな場所で映像を楽しめます。

<http://www.sony.jp/video-projector/products/LSPX-P1/>

ご注意

- 本ヘルプガイドに掲載している画面やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- デザインおよび仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

「IFTTT」連携機能終了についてのお知らせ

ビデオプロジェクターLSPX-P1に搭載されている「IFTTT」連携機能（以下「本機能」といいます。）につきまして、そのご利用者数に鑑み、2018年12月上旬に提供を開始する更新版アプリへのアップデートをもって終了させていただきます。2018年12月上旬以降、Google PlayおよびApp Storeで提供される新しいバージョンのアプリへの更新にご協力をお願いいたします。

アプリ更新後は、これまで本機能により設定が可能だった「Facebook」や「Instagram」に投稿した写真のスライドショーおよび、お好みのWebサービスとの連携設定（アプレット／Applet）をしていたスライドショーはご覧いただけなくなります。アプリ更新後も引き続きスマートフォンの写真/動画をご覧になりたい方は、「自分の写真」で表示したい写真や動画を選び、スライドショーを楽しめます。詳細は、[こちらの](#)ページのご案内をご覧くださいませようお願いします。なお、「IFTTT」サービス提供元との契約終了に伴い、2019年3月15日以降本機能は完全にご使用いただけなくなります。

本機能をご使用のお客様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますことお詫び申し上げます。